

共同募金にあたたかい協力ありがとうございます



今年度も10月1日より共同募金運動を実施しており、皆様から多くのご協力をいただきました。

また、年末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として12月1日から実施され、今年も皆様から多くの募金をいただきました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の地域福祉活動のために大切に使用させていただきます。

地域の皆様のあたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

募金種類	募金説明	赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額
戸別募金	自治会・町内会や民生委員の協力で、募金ボランティアが各家庭を訪問していただいた寄付金	7,039,098円	4,380,041円
法人募金	企業や法人を中心に、ダイレクトメール方式や訪問などを行い、いただいた寄付金	1,695,500円	-
校内募金	区内小・中学校、高等学校から協力していただいた寄付金	125,964円	-
職域募金	会社・施設などの社員・職員からいただいた寄付金	965,080円	-
イベント募金	川崎フロンターレとの協働によるXリーグでの募金活動等、イベントを通じていただく寄付金	22,680円	-
その他募金	区内施設のご協力により設置させていただいている募金箱や個人団体からいただいた寄付金	24,865円	-
合計		9,873,187円	4,380,041円

(令和3年12月10日現在)

また、今年は、これからの未来を支える若い世代の方々をはじめとする多くの方々に「赤い羽根共同募金」に関心を持っていただくこと、また住民同士の支えあい活動を若い世代から盛り上げ、安心して暮らすことのできる地域を目指すことを目的として、「劇場版 呪術廻戦 0」と「赤い羽根共同募金」がコラボレーションし、クリアファイルを作成しました。

川崎市川崎区支会では、クリアファイル1枚につき、300円以上の募金をお願いしております。(数量限定のため、なくなり次第終了となります。)

皆様のご協力をお願いいたします。

※今年度の共同募金運動は、令和4年3月31日まで期間を延長して実施しております。

クリアファイル



©2021「劇場版 呪術廻戦 0」製作委員会 ©芥見下々/集英社

令和3年度賛助会員募集結果のご報告

今年度も社会福祉協議会が行う事業や福祉活動に対し、多くの区民の皆さまから、ご協力・ご賛同いただき、深く感謝申し上げます。

皆さまにご協力いただきました賛助会費は、8割が皆さまのお住まいの地域の地区社会福祉協議会による高齢者のふれあい会食会・ミニデイサービスや子ども食堂、認知症カフェ、ポッチャ大会など、身近な地域の福祉活動に役立てられています。

また、2割は、「つながりを育て安心して暮らせるまちかわさき区」を目指し、本会が取り組んでおります、川崎区社会福祉大会や災害ボランティアセンターの広報啓発、広報誌「ウェーブ」の発行、車いす等福祉用具の貸出の他、地域性に即した福祉活動を進めていくための貴重な財源として、大きな役割を果たしております。

ご賛同いただいた賛助会費額
(令和3年11月30日現在)

4,414,000円



川崎区社会福祉大会



災害ボランティアセンターの広報啓発(防災訓練にて)

川崎区の役立つ福祉情報をお届け



川崎区社会福祉協議会

発行
川崎区社会福祉協議会
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>



[発行人]
岸 茂信
[編集人]
編集委員会

目次

1. 社会福祉大会の報告
2. 福祉教育情報交換会・障がい者支援講座のご案内・ボランティア講座のご案内
3. 福祉教育の取り組み紹介
4. 川崎区内老人いこいの家のご案内
5. 令和4年度いこいの家教養講座のご案内
6. 災害ボランティアセンターの紹介
7. 地区社協のトピックス その他
8. 共同募金運動の報告
賛助会員募集結果の報告

紙面に関するお問合せはこちらまで



ウェーブくん



川崎区社会福祉大会 開催報告



令和3年11月20日(土) 教育文化会館にて川崎区社会福祉大会を開催し、約110名の方に参加いただきました。

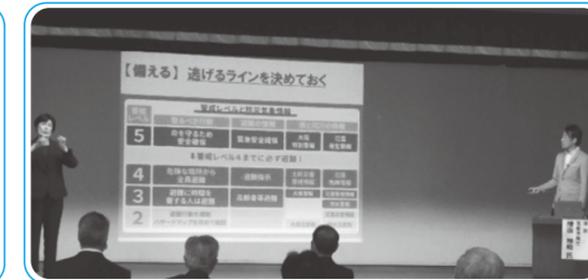
例年は川崎区社協福祉まつりとして開催していますが、新型コロナウイルスの影響で不特定多数の方が来場するイベントの開催が難しいため、昨年同様、事前申込制で社会福祉大会を開催しました。

第1部式典では、長年に渡り地域福祉活動に貢献された方や、本会に多額の寄付をいただいた方・団体に対して表彰状・感謝状の贈呈を行いました。

第2部講演では、気象予報士の増田雅昭氏に「災害から身を守る天気予報の使い方」をテーマに講演いただきました。近年の天気の傾向や、災害発生時に気を付けることなどを分かりやすくお話しいただき、大変勉強になる内容でした。

参加者には記念品として、本会のイメージキャラクターウェーブくんのロゴバッグと区内の障害者施設が作った製品をプレゼントしました。障害者施設も新型コロナウイルスの影響で販売の場が制限されており大きな影響を受けています。初めての企画でしたが、参加者や協力いただいた施設から好評をいただきました。

新型コロナウイルスの感染状況によりませんが、来年以降は、再び福祉まつりが開催できるよう準備を進めていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお祈りいたします。



講座のご案内

① 福祉教育情報交流会・障がい者支援講座

～いざ!という時を障がい者と共に乗り越えていくために～

新型コロナウイルスの影響により延期しておりました福祉教育情報交流会・障がい者支援講座を開催します。例年、各地で災害の被害が報告されていますが、令和元年には、台風15号・19号が川崎区に接近・上陸し、区内にも被害が生じ、避難された方たちもいらっしゃいました。そこで今回は、『～いざ!という時を障がい者と共に乗り越えていくために～』をテーマに、今後の災害に備え、障がいのある人もない人も同じ地域の中でお互いに支え合い、暮らしていくため、日頃からできる“ご近所づきあい”について考え、交流できる場を予定しております。

日時 令和4年2月9日(水) 午後2時～4時 **会場** カルッツかわさき 大会議室1・2・3・4(川崎区富士見1-1-4)

内容 (1)災害!その時障がい者の方は... 講師: ①川崎市視覚障害者情報文化センター元職員 日本盲人福祉委員会災害時支援員ネット推進委員 中村 透氏 ②障がい当事者、関係者 (2)交流会 テーマ: 災害時にお互いができること、日頃からお互いに行えることは?

地域で災害に備えましょう!



■対象: 区内在住で興味関心のある方 ■申込: 電話、ファックス、メールまたは、右記QRコードにて➡
■定員: 50名(事前申込制・先着順) ■締切: 令和4年2月4日(金)まで
※手話通訳・要約筆記が必要な方は1月28日(金)までにお申し込みください。



② ボランティア講座のご案内

～つながりをたやさない地域づくり～ ボランティア講座&交流会を開催します!

令和3年3月から延期となっていた、ボランティア講座&交流会を開催します。新型コロナウイルスの影響から、ボランティア活動・地域活動がしづらい状況が続いていますが、withコロナのボランティア活動について、牧岡先生より講演と活動事例の紹介をしていただきます。参加者同士の交流・情報交換も予定していますので、コロナ禍で活動する上での困りごとや、工夫していること等を共有し、皆さんが活動をする・再開する機会になればと思います。当日は、会場の換気や消毒等感染症対策を徹底し実施します。皆様の申込みをお待ちしております。

日時 令和4年2月21日(月) 午前10時～11時30分 **会場** 福祉パルかわさき 大研修室 (川崎区富士見1-6-3 読売川崎富士見ビルB-1棟6階)

●講演・活動事例紹介 「ボランティア活動 ～つながりをたやさない地域づくり～」 牧岡 英夫 氏 (社会学博士) ●交流・情報交換 「コロナ禍の活動で困っていること、工夫していること等」

■対象: ボランティアや地域活動に興味のある方、ボラセン運営委員会、当事者団体、ボランティアグループ 等
■定員: 28名(事前申し込み制・先着順) ■参加費: 無料
■申込: 電話、ファックス、メールまたは、右記QRコードにて➡



①②の
問合せ・申込先



主催 川崎市川崎区社会福祉協議会
住所: 川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビルB-1棟6階(福祉パルかわさき内)
TEL: 044-246-5500/FAX: 044-211-8741/メール: info@kawasakiku-shakyo.or.jp
※新型コロナウイルスの感染状況により内容に変更が生じる場合がございます。

福祉教育の取り組み紹介

川崎区社協では、第4期地域福祉活動計画の基本目標1に掲げている『共に生きる地域を目指し、互いの理解を深めます』の実現に向け、福祉教育の推進に取り組んでいます。昨年から続く新型コロナウイルスの影響により地域の福祉活動やさまざまな交流の機会が失われてしまい、福祉教育も実施が難しい状況にありましたが、新たにオンラインを活用した取り組みを進めています。

大師小学校×特別養護老人ホーム大師の里 オンライン交流

●事例紹介●

ボッチャや高齢者疑似体験等を通じ、「足が不自由で大変だな」「私なら怖くて、お家に閉じこもっちゃうかも」などの感想をもった子どもたち...
でも、本当に毎日、そんな風に生活しているのかな?
➔Zoomを使ってオンラインで交流、話を聞いてみよう!!



教室

今一番嬉しいことや楽しいことは?



塗り絵が仕上がった時です。

施設



当日は、施設がこの日のために作成してくださった見学動画を見たり、子どもたちから施設の利用者の方たちに質問をしたりして、交流を行いました。
交流後の子どもたちからは...
あれ? 気付き
つらい思いをしているのかと思ったけれど、ぬりえや将棋など楽しい活動をしていることがわかった。
できないことがあっても自分はこうなんだと思って明るく過ごしていることがわかった。
高齢者になるのがいやだなと思っていたけど、いやじゃなくなった。
などの声が聞かれました。

そもそも福祉教育って?

私たちの地域で、誰もが幸せに暮らしていくためには何をしたらいいのか。身の回りの方々や地域との関わりをとおして、地域にどのような方がいるのか、どのような生活課題や希望があるかを学び、その解決や希望を叶える方法を考え、行動する力を養うことを目的としています。「誰か」が幸せになるのではなく、地域に住む一人ひとりの幸せを積み重ね「みんな」が社会の中で幸せになるために必要なことを考えていくことを大切にしています。

川崎区社協は、学校を含む地域のさまざまな場面で行われる福祉教育を推進・支援しています。企画段階からの相談支援、地域の社会資源や人材をつなぐコーディネートを担っており、日頃からの地域とのつながりを活かし、さまざまな資源を駆使したプログラムと一緒に考え、学びを深める機会を創造していきます。**ボランティアグループや町内会、企業等からの相談も受け付けておりますので、ぜひ一度ご相談ください。** コロナ禍でも工夫を凝らし、地域の皆さんとのつながりをたやさないよう取り組みを進めていきます。



川崎区内老人いこいの家のご案内

川崎区には9館の老人いこいの家(通称:いこいの家)があり、川崎市内在住の60歳以上の方々にご利用いただいております。10名以上であれば団体で利用することも可能です。

新たにご利用を考えている方、ご興味のある方等々、お気軽にご見学ください。お待ちしております。

※ご利用にあたり注意事項がありますので、管理人にお気軽にお尋ねください。

講座・行事など、各いこいの家の様子をご紹介します。



大師いこいの家 「手作り趣味の講座」



小田いこいの家 「はつらつ講座」



藤崎いこいの家 「ハロウィン交流イベント」



田島いこいの家 「輪踊り」



大島いこいの家 「保育園児との交流」



桜本いこいの家 「小物作り教室」



京町いこいの家 「作品展」



渡田いこいの家 「笑いヨガ」



殿町いこいの家 「わら細工教室」

入浴事業

	男性	女性
月	小田・殿町	藤崎
火	大師・桜本	
水	京町	小田・殿町
木		桜本
金	藤崎	大師・京町

※田島・大島・渡田は実施していません。

多種多彩な講座や活動を開催しています

いこいの家では教養の向上・心身の健康増進などをはかるために、単年度の各種教養講座を開催しております。毎年4月に向け、新規参加者を募集します。ご確認の上、各いこいの家にお申し込みください。

- 作品展・交流会
- 介護予防講座
- 世代間交流事業 (こども文化センター、保育園、幼稚園、小学校等との交流)
- 教養講座(詳しくは右ページ参照)
- 団塊の世代向け講座(救急救命講座)
- 健康の日(毎週1回健康チェック)

川崎区内老人いこいの家 令和4年度教養講座についてのご案内

川崎区内の老人いこいの家(通称いこいの家)では、令和4年4月から開催する教養講座の受講者を募集します。

- 教養講座 内容と日程 下記参照
- 募集期間 2月1日(火)~2月28日(月)
- 応募方法 各いこいの家にて受付します。所定の申込書にご記入ください。※官製ハガキを1枚ご持参ください。
- 受講者決定 3月中旬 (定員を超えた場合は抽選となります)
- 結果発表 ご持参いただいたハガキでお知らせします。

- ◎初めての方等の受講を優先します。
- ◎受講料は無料ですが、講座によっては材料費・資料代がかかることがあります。
- ◎定期的に開催する講座以外に単発・短期・不定期で開催する講座もあります。
- ◎詳細は参加希望する各いこいの家にお問合せください。

いこいの家 電話・所在地	講座 定員・曜日・時間	講座 定員・曜日・時間	講座 定員・曜日・時間	講座 定員・曜日・時間	講座 定員・曜日・時間
大師 ☎277-7979 大師公園1-4	元気アップ体操 9人 第1月 13:30	手作り趣味の講座 10人 要材料費 第2水 13:00	健康キャラバン 9人 第1木 13:30	笑いヨガ 9人 第3木 13:30	単 手芸講座 年3回
小田 ☎344-3387 小田2-16-9	健康キャラバン 10人 第3木 13:30	レクダンス 10人 第1木 13:30	はつらつ講座 18人 第1火 10:00	ぬり絵教室 12人 要材料費 第2土 13:30	単 手作り小物教室 年4回
藤崎 ☎222-7773 藤崎4-17-6	元気アップ体操 12人 第1月 10:00	笑いヨガ 12人 第2・4火 10:00	健康キャラバン 12人 第3月 10:00	単 折り紙教室 年2回	単 手作り小物教室 年2回
田島 ☎366-2811 田島町20-23	手作り趣味教室① 6人 材料持参 月1回 不定期	手作り趣味教室② 6人 材料持参 月1回 不定期	ストレッチ健康体操 10人 月1回 不定期	絵手紙教室 6名 材料持参 月1回 不定期	単 小物作り教室 年4回 単 盆踊り教室 年2回
大島 ☎233-8867 大島1-9-6	キントレ&リフレッシュ① 9人 第2月 13:30	キントレ&リフレッシュ② 9人 第4月 13:30	囲碁教室 10人 第1水 10:00	笑いヨガ 9人 第2木 13:00	単 折り紙教室 年2回 単 小物作り教室 年4回
桜本 ☎277-5125 桜本2-5-2	健康キャラバン 10人 第4金 10:00	元気アップ体操 10人 第3水 10:00	キントレ&リフレッシュ 10人 第2木 13:30	単 ランタースティック 年1回 単 クリスマスツリー作り 年1回	単 折り紙教室 年3回 単 小物作り教室 年3回 単 クラフトテーブル 年2回 単 組ひも教室 年1回
京町 ☎344-0184 京町3-12-2	健康キャラバン① 10人 第2木 13:30	健康キャラバン② 10人 第4木 13:30	単 キントレ& リフレッシュ 年2回	単 絵手紙教室 年4回	単 折り紙教室 年5回 単 小物作り教室 年2回
渡田 ☎366-4075 渡田4-12-20	笑いヨガ 12人 第1・3火 10:00	絵手紙教室 15名 要材料費 第4木 13:00	男性の体操教室 12人 第3土 10:00	単 ぬり絵教室 年2回	
殿町 ☎287-9108 殿町1-20-15	健康キャラバン 9人 第2金 10:00	笑いヨガ 9人 第1火 13:30	ぬり絵教室 10人 要材料費 第4土 13:30	ポッチャ 9人 第2土 10:00	単 クラフト教室 年3回 単 わら細工教室 年3回

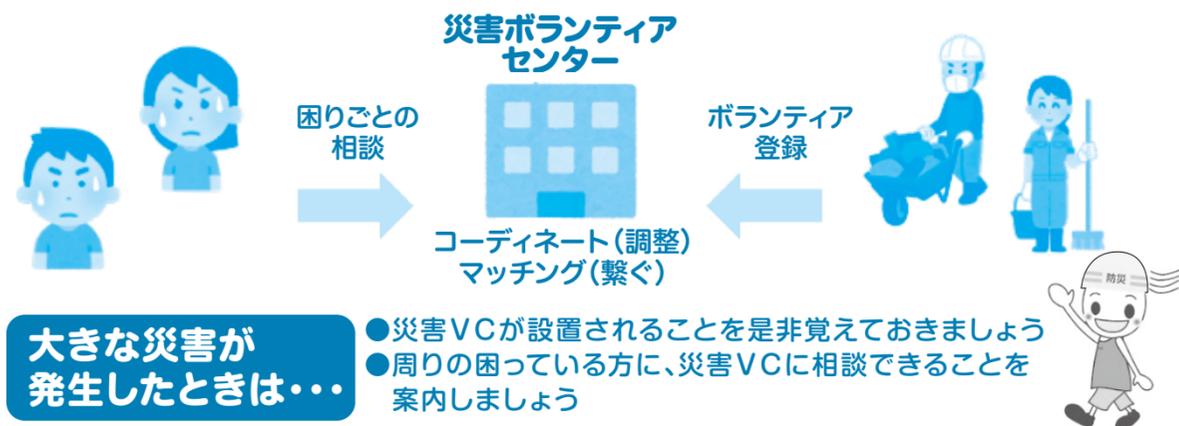
【単発・短期・不定期講座】
※開催日2か月前にチラシ(いこいの家館内・町内会掲示板・いこいの家新聞)などで広報します。
開催時期や詳細については、各いこいの家にお問合せください。
※新型コロナウイルスの感染状況により募集人数を変更する場合がございます。予めご了承ください。

災害ボランティアセンターをご存じですか？

災害ボランティアセンター（災害VC）は、大きな災害（地震・風水害など）が発生した際に、被災した方々や地域を支援するために、臨時的に作られるボランティアセンターです。各地から集まってくるボランティアと、被災者のニーズを繋ぐことが大きな役割です。

被災地域の自治体ごとに社会福祉協議会（社協）が中心になって設置・運営されることが多く、川崎市においては、川崎市と川崎市社会福祉協議会と市民活動センターにより、災害VCの設置や運営に関する協定を結んでいます。

令和元年に台風19号による被害が発生した際には、「川崎市災害ボランティアセンター」を中原区に開設し、約40日間で1,340名の方にボランティアとして個人家屋の片付け、泥出し、清掃などの活動をいただきました。



災害発生時には、人命救助やライフラインの復旧が最優先となりますので、ボランティア活動がすぐにできる訳ではありません。被災地でボランティアを希望する場合は、必ず現地の災害VCから発信される情報を見て、ボランティアの受入を行っているかどうかを確認してください。

川崎区社協では、平常時の取組として、区の総合防災訓練などで災害VCの啓発を行っています。床板剥がしなどの体験も行って、災害時のボランティアを知ってもらう活動をしています。機会がありましたら、是非参加ください。



パネルによる啓発活動



床板剥がし体験※1

※1浸水被害を受けた住宅では、床下の水・泥を排出し、乾燥・消毒することが衛生面などで大切です。

中央第一地区社協 『地域福祉活動活性化プロジェクト』



中央第一地区社協では、これからの地域の福祉活動の活性化のため、プロジェクトチームを立ち上げ、会則や活動の見直しを行っています。これまでに2回の検討を重ねており、忌憚のない意見交換が行われ、これまでよりも相互間の連携が深まり、活動の理解へとつながっています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、しばらく活動が止まっていたですが、今後はプロジェクトを通じて深まった連携を活かして、これまで以上に地域の実情に目を向け、寄り添いながら活動を行っていきたいと考えています。



また、12月6日（月）には、宮前小学校の4年生を対象に福祉教育の一環として行われた車いす体験のお手伝いをしてきました。同じエリアの地区民生委員児童委員協議会とそれぞれ7名でお手伝いに伺い、子どもたちが安心・安全に体験ができるように見守りや操作補助を行いました。

子どもたちが車いすを押したり、乗ったりしながら、サポートをする人、当事者の気持ちを考える一生懸命な姿に、頼もしさや逞しさを覚えました。

地区社協としては初めての試みでしたが、地域の子どもたちに顔を覚えてもらえる機会ともなり、今後、町の中で元気にあいさつを交わしながら、いっしょに福祉のまちづくりを行っていきたいと思います。



～お知らせ～

ほほえみ コーナー

寄付者名（受付順）

期間：令和3年8月1日
～令和3年11月30日

●パークホームズ
川崎大師表参道
管理組合 様



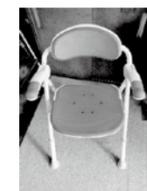
譲ります・譲ってください(福祉用具リサイクル事業)

川崎区内にお住まいの方を対象に、車いす、シルバーカー（手押し車）、介護用ベッド、歩行器等の福祉用具を譲りたい方と譲って欲しい方との間で無料でご紹介をしています。

現在譲りたい方から、車いす1台、ポータブルトイレ5台、浴室用いす3台の登録があります。



ポータブルトイレ(A94)



浴室用いす(A86)



車いす(A85)



福祉用具を譲りたい、譲って欲しい方は、川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。
電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741 Email：info@kawasakikushakyo.or.jp